

令和8年度 子ども家庭局X方針について

■ 局区X方針とは

(概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

(目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

■ 子ども家庭局X方針について

(1) 課題数 全2件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	1件	—	1件
政策分野	局全体	—	保育

Aレベル : 行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル : 政策的な変革課題 (Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組内容等

・課題A デジタルツールの活用などによる事務の効率化と生産性の向上 (資料1のP3)

○限られた業務従事者で質の高い行政サービスを提供するため、事務の効率化と生産性の向上を図ることで、多層化・複雑化する子育て世帯のニーズにきめ細やかに対応する時間を増やす必要がある。

○また、持続的なサービス提供体制を維持するため、子育て施設の業務従事者や市民、企業、医療機関並びに行政職員の業務負担軽減、働きやすい環境整備に努める必要がある。

○そのため、R8年度については、以下の取組みを行う。

- ・業務フローの見直し
- ・デジタルツールの活用検討および導入

・課題C 多様化する保育ニーズへの対応 (資料1のP5)

○子育て世帯が安心して子どもを産み育てる環境を整備するには、多様化する保育ニーズに柔軟に対応していく必要がある。

○加えて、全国的に保育士不足が問題となっており、多様化する保育ニーズに柔軟に対応していくうえでも保育士確保は過去からの検討を要する中長期的な課題である。

○質の高い保育サービスを継続的に提供できる仕組みを目指すため、

R8年度については、以下の取組みを行う。

- ・民間施設への支援強化等の方策を検討
- ・保育人材確保のあり方を検討
- ・直営保育所の整備手法などの検討